

2022年10月21日

報道関係者各位

一般社団法人 国際 STEM 学習協会
湘南モノレール株式会社

湘南モノレール湘南江の島駅において 「鎌倉 FAB の 13 人」による大型立体地図の展示

湘南モノレール株式会社、SOLIZE 株式会社、一般社団法人 国際 STEM 学習協会（ファブラボ鎌倉）は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が推進する「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」の地域共創分野育成型プロジェクトとして採択された、慶應義塾大学（プロジェクトリーダー：田中 浩也 環境情報学部教授）が代表機関を務める「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点」のイベントとして、産官学民が関わり合いながらプロジェクトを進めていく「SHONAN FAB STATION PROJECT」を開催しています。本イベントでは、湘南モノレール湘南江の島駅での各種展示を通じ、その成果を広く共有します。

「SHONAN FAB STATION PROJECT」について

湘南モノレール湘南江の島駅で開催する「SHONAN FAB STATION PROJECT」は、COI-NEXT の育成プロジェクトである「デジタル駆動 超資源循環参加型社会共創拠点」での取り組みの一つとして開催するイベントです。

第二弾は、湘南エリアで進めていた大型立体地図の制作「鎌倉 FAB の 13 人」の展示となります。本取り組みは、ファブラボ鎌倉がコーディネイター役を務め、つくることを通じて地域内の方々が出会い連携しながら制作を進めていきました。地域のサポーターの方々、教育機関、NPO 法人など 13 施設の協力を得て実現しているプロジェクトです。つくられた立体地図には、中高生が作成したプロジェクションマッピング映像が投影され新しい地域や社会のあり方を提示し、皆さんで考える機会にすることを目指しています。展示台には、鎌倉市で 2016 年より実施している市民参加型のプラスチック回収活動「RecyCreation（リサイクリエーション）」プロジェクトで回収された資源を活用した「おかえりブロック」（花王株式会社による提供）を使用します。

【展示概要：鎌倉 FAB の 13 人】

展示期間：2022 年 11 月 6 日（日）～ 12 月 18 日（日）

プロジェクションマッピング点灯式日時：2022 年 11 月 6 日（日）16:00-18:00

展示会場：湘南モノレール 湘南江の島駅 1 階及び 3 階

展示時間：7:00-21:00

入場：無料

主催：慶應義塾大学 SFC 研究所 デジタル駆動超資源循環参加型社会共創コンソーシアム SHONAN.
FAB STATION PROJECT 分科会（参加企業：湘南モノレール株式会社、SOLIZE 株式会社、花王株式会社、一般社団法人 国際 STEM 学習協会）

プロジェクションマッピング協力：宝塚大学東京メディア芸術学部渡邊研究室

展示内容

1. 鎌倉 FAB の 13 人(ファブラボ鎌倉)：2022 年 11 月 6 日 (日) ~12 月 18 日 (日)

地域で 3D プリントされた大型立体地図

鎌倉 FAB の 13 人では、縦(1,800mm) x 横(1,800mm)の大型立体地図を、鎌倉時代の源氏の勢力エリアに分布する協力者とともに制作しています。地域の教育機関や NPO 法人など 13 施設の協力を得て、各拠点で 3D プリントされた立体地図 15 センチ角のピースの合計は、144 個にのぼります。

展示会場では、小さな地図が組み合わされて大型立体地図となり、実際に触れていただくことも可能です。そして、立体地図上には「文化・歴史」「未来の社会」などをテーマに、有志の中高生らにより自由な発想で作成されたプロジェクションマッピング映像が投影されます。点灯式では、関わった学生らによる点灯式やプレゼンテーションも行われる予定です。



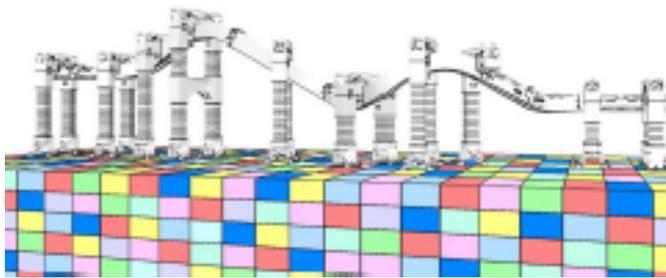
1) 144 ピースを組み合わせた立体地図 2) 地形に合わせ作成されたプロジェクションマッピング動画

2. sasumo (サスティナブルモノレール) ※ 第一弾として 2022 年 6 月 1 日より展示している作品

プラスチックの地捨地消（地域で捨てられるはずのプラスチックに再度価値を与え、可能な限り地域内で長く循環的に使用するという概念）に楽しく取り組めるようなきっかけ作りを目的とした、湘南モノレール模型の展示を行います。この模型は、激しいアップダウン・カーブなど、ジェットコースターのような湘南モノレールを既存の商品を活用しながら表現しており、実際にレールにぶらさがって走行します。環境に配慮した設計を取り入れながら、3D プリンタを使った技術開発中のリサイクル材を活用し、レールや橋脚を製作しました。

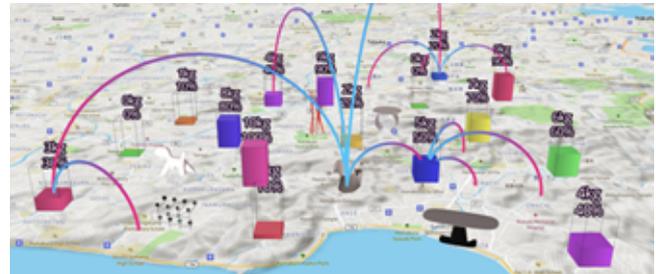
展示台には、「おかえりブロック」（花王株式会社による提供）を約 2,400 個使用しています。

リサイクルプラスチックの可能性を広げる展示を通じて、湘南江の島駅を中心としたプラスチック循環の発信を行ってまいります。



COI-NEXT プロジェクトの概要

SDGs 未来都市である鎌倉市は「ゼロ・ウェイストかまくら」実現を目指し、減量や資源化の試みを推進してきました。本プロジェクトでは慶應義塾大学が有するデジタルプラットフォーム・IoT・3D 製造技術を街に全面導入し「プラスチック地捨地消」を実現、さらに資源循環の各局面に市民それぞれが参加することを通じて、充実感や豊かさを享受できる新たな社会を共創します。回収状況、材料情報、デザイン案等のデータを蓄積し、その有機的結合をプラットフォームが促すことで、循環のみならず新規ビジネス創出までを先導し、技術と社会制度パッケージからなる「プラスチック地捨地消 鎌倉-慶應モデル」をプロジェクト終了後、国内外へ広く展開します。



「プラスチック地捨地消」デジタルプラットフォームのイメージ

【本件についてのお問い合わせ先】

一般社団法人 国際 STEM 学習協会（ファブラボ鎌倉） お問い合わせ窓口 渡辺ゆうか
E-mail: info@fablabkamakura.com

湘南モノレール株式会社 総務部 戸井田純一
E-mail: info@shonan-monorail.co.jp